

「イエスさまは神さまです！」

～御子は見えない神のかたち～

「このキリストが十字架上で死なれ、血を流されたことによって、天地万物のすべてのものを、神はご自分と和解させてくださったからである。あなたかたも、以前は悪い行ないをして、神から離れ、心の中で神に敵対していたが、今は、キリストの十字架上の死によって、神はあなたかたをご自分と和解させてくださり、あなたかたを聖く、傷が無く、責められるところのない者として、御前に立つことができるようにしてくださった。そこで、あなたかたに言っておきたいことは、信仰に堅く立ち、そこに立ち続けて、すでに聞いた福音の望みであるキリストから離れないようにすべきである。この福音は、世界中のあらゆる人々に宣へ伝えられているものであって、このパウロはそれを宣へ伝える働き人とされたのである。」コロサイ人への手紙1章20-23節 [現代訳]

今回の台風は記録的な大きさとのこと。この文章を記している今も雨脚が強まっているのを見ている。本当に自然の力は物凄いものです。私たちの想像をはるかに超えるような状況も起こります。そんなときは私たち人間の小ささを思わずにはいられません。

しかし、主はその自然をお造りになり、ご支配なさっておられます。主は小さなガリラヤ湖におられながら、大きな嵐の中で、弟子たちと共に乗っておられた舟は木の葉のように揺れていました。しかし、そこでぐっすりと休んでおられたイエス様。弟子たちは必死で狼狽しながら舟に捕まって、入ってきた水をかき出しながら、命の危険を感じていたことでしょう。そんな小さな小さなパレスチナの湖で、天地の創造主なる神は立ち上げられました。そして、その嵐に向かって、「静まれ！ 黙れ！」と命じられました。すると、いつぱんになぎになってしまいました。人間の大きさになった創造主なるお方が大自然に向かってその嵐をとどめるといふ構図はちょっと想像しづらいのですが、その嵐は小さなガリラヤ湖だけにとどまらず、その地域一帯の天候の変化でもあったと思われまますから、その全体に向かって変化を起こされたものであったと考えられます。何よりも主の御力は、目に見える世界を背後で支配している目に見えない世界の力をもって、すべての霊的な勢力を足の下に従わせ、世界をひっくり返られたという状況でした。「自然界、超自然界を含め、過去・現在・未来に渡る全世界を支配するお方とされた。また、神はすべてのものをキリストの支配下に置かれ、全被造物を支配するお方として、キリストを教会の頭とされた。だから、教会はキリストの体であって、キリストが満ちあふれる所である。〔エペソ人への手紙1章22節・現代訳〕」

永遠の世界、命以上の世界を支配されている主に望みを置くことを継続していきましょう！ 特に今病など、試練に遭っている愛兄姉たちのために祈っていきましょう！ 支配者なる主が共にいて、癒し、強め、回復して下さいますように！